



国際コロキウム

文化庁「東アジア芸術家・文化人等交流・協力事業」

2019年3月1日(金)～2日

「壁画の保存と 彩色技術交流」

【国際コロキウム】

開催日時：2019年3月1日(金) 10:00 開場 10:30～17:10
3月2日(土) 10:00 開場 10:30～17:50

申込：事前申し込み
(参加費無料、定員各日120名)

会場：国立西洋美術館講堂
東京都台東区上野公園7-7
JR上野駅下車(公園口出口徒歩2分)

主催：文化庁、東京藝術大学
後援：文化遺産国際協力コンソーシアム、文化財保存修復学会

【問い合わせ先】東京藝術大学 社会連携センター ユーラシア文化交流センター
メールアドレス：hekiga2019@gmail.com

我が国は、仏教伝来の道でもあるシルクロード上に点在するバーミヤーン壁画や敦煌壁画などに大きな関心を寄せ、壁画の保存についても早くから敦煌研究院などと共同研究を行ってきました。このような成果の上に、南アジア、西アジア、中央アジアなどの国々と壁画の保存をテーマにして人材育成などの国際協力を実施してきました。近年では、これらの活動が大きな成果を上げ、壁画の描画技法や材料交易の実態が明らかになり大きな話題になっています。

このコロキウムは、シルクロード沿線とその周辺諸国、さらにはこの地域の壁画保存にかかわってきたヨーロッパの専門家を招聘して、壁画を描くための膠着剤・顔料などの研究や保存修復に関する最近の研究動向に焦点をあてて情報交換を行います。

<プログラム> 同時通訳：日⇄英

【第1日目】2019年3月1日（金）

10：00 開場 10：30～17：10

- ◇開会挨拶：東京藝術大学
- ◇「ルーマニア壁画の技法と材質」
Olimpia Barbu（ルーマニア国立歴史博物館）
- ◇「バルカン地域における教会堂壁画」
日高翠（東京藝術大学）
- ◇「ペトラ遺跡ナバテア壁画の保存」
Stephen Rickerby
（イギリス・元コートールド美術研究所所属）
- ◇「カッパドキア壁画の劣化と保存」
Murat Gulyaz
（トルコ・ネブシェヒル博物館）
- ◇「カッパドキア壁画の技法と材質」
Paola Pogliani
（イタリア・University of Tuscia）
- ◇「バーミヤーン大仏の技法と彩色材料」
Catharina Blaensdorf
（ドイツ・ミュンヘン工科大学）
- ◇「バーミヤーン壁画の技法と材質」
谷口陽子（筑波大学）
- ◇「キジル壁画の材質と技法」
Shen Ling（中国・浙江大学）

【第2日目】2019年3月2日（土）

10：00 開場 10：30～17：50

- ◇「アジャンター壁画の劣化と保存」
D. K. Gupta（インド考古局）
- ◇「アジャンター壁画の技法と材質」
島津美子（国立歴史民俗博物館）
- ◇「タジキスタン壁画の劣化と保存」
Bobomullo Bobomulloev
（タジキスタン国立古物博物館）
- ◇「ウズベキスタン壁画の劣化と保存」
Otabek Aripdjanov
（ウズベキスタン国立歴史博物館）
- ◇「敦煌莫高窟壁画の劣化と保存」
蘇伯民（中国・敦煌研究院）
- ◇「敦煌 285 窟壁画の技法と材質」
高林弘実（京都市立芸術大学）
- ◇「剥ぎ取り壁画の保存
～バーミヤーンからメス・アイナックへ～」
木島隆康（東京藝術大学大学院）
- ◇「韓国における壁画の劣化と保存」
Hwa-soo Lee（韓国・国立忠北大学）
- ◇「日本における漆喰古墳壁画の保存修復」
早川典子（東京文化財研究所）

* 演題、講師、講演時間は予告なく一部変更になる場合がございます。

* 本コロキウムの録音、撮影はお断りさせていただきます。